

陳 情 文 書 表

1 件 名 ゴミ処理の広域化の見直しについて

2 受理年月日 平成 29 年 2 月 17 日

3 受理番号 第 1 号

4 陳 情 者 加西市北条町古坂 1 丁目 高橋一彰

5 陳情の要旨

〔陳情項目〕

平成 25 年度のゴミ処理の広域化の見直しについて検討してほしい。

〔陳情理由〕

平成 25 年度、小野加東環境施設事務組合（以下、「小野加東等」という）に加入したゴミ処理の広域化が加西市にとって 122,000 千円得になるから始められました。が得になっていない。初年度で 29,592 千円、平成 27 年度で 13,878 千円の損失が発生している。

平成 25 年度秋にゴミ処理の広域化は加西市にとって 122,000 千円得になると市民説明会が開催されたがあまりにも突飛な話で理解できず困っていた。ほとんどの市民は理解できていなかったように思う。加西市にとって 122,000 千円得になり、ゴミ袋が半額になるから反対の声はほとんどなかった。

小野加東等へ統合した疑問点として、まず、1 億 2 千万円得になる。なぜ赤字なのか。あまりにも違いすぎないか。税金の無駄遣いになっている。

焼却炉の問題であるが耐用年数からみても加西市が 17 年経過、小野加東等が 27 年経過等で周辺の市町村でも 35 年を超すような炉はない。

加西市は市の焼却炉はボロボロで今にも壊れそうに説明しているが、ある産廃業者が加西市の焼却炉を見に来て非常に良い状態で廃炉にするのには勿体ない。当面は大規模改修も必要がない。廃炉にするなら売ってもらえるかと質問された。

また、加西市は小野加東等の焼却炉は大規模改修の必要がなく延命処置で 15 年間使えると回答している。どこのメーカーが延命処置で 15 年間大規模改修なしで使えと言ったか。

また、大規模改修は発生しないと言いながら発生すれば加西市も処理量等で負担になっているのも問題である。

小野加東等に聞き取り調査をした。15 年間大規模改修しなくても 3 炉でローテーションして延命処置で使えるのかと聞いたら、小野加東等は小野加東等の焼却炉は古いから明日壊れるかもしれないので保証はできないとの回答があった。小野加東等は加西市からは電話での問い合わせがある。忙しいのに迷惑している。そんな

間があるなら一週間ほど泊りで勉強に来たらと伝えたが加西市から誰一人来なかった。

また、「市民オンブズマン加西」は小野加東等に大規模改修が発生したら加西市は加入年数に応じた負担にできないかと提案している。その旨、小野加東等に伝えたが、小野加東等の会議では、加西市からは何も提案はなかった。加西市には焼却炉の詳しいことが分かる人がいないように思った。と回答を得た。

また、驚いているが加西市は加西市の廃炉費用 39 千万円を負担し、かつ小野加東等の廃炉費用（見積もりは取られていない。加西市の炉を参考にすれば概ね 7 億円ほど必要）を負担する。こんな取引は正常とは思えない。

今後の問題点として、5 市 1 町構想は幻。広域化はすでに破たんしている。

また、小野加東加西環境施設事務組合で今後も広域処理を続けるなら、大規模改修費及び廃炉費用の負担は加入年数で按分し、本当に得になるよう負担割合を変更すべきである。それでも年々増加する小野加東加西環境施設組合の負担金には注意が必要である。負担の軽減が図れないなら、早期に加西市に持ち帰り市民負担をどうすれば少なくなるかを第三者等（焼却炉の専門的な知識を有する者等）を交え検討すべきである。

陳 情 書

平成29年 2月17日

加西市議会議長

三宅 利弘 様

陳情者 住所 加西市北条町古坂1丁目151番地

高橋 一彰



件 名 ゴミ処理の広域化の見直しについて

陳情項目

1 平成25年度のごみ処理の広域化の見直しについて検討して頂きたい。

陳情の理由・経緯等

陳情理由

平成25年度、小野加東環境施設事務組合（以下「小野加東等」という）に加入したゴミ処理の広域化が加西市にとって122,000千円得になるから始められましたが得になっていない。初年度で29,592千円、平年度（平成27年度）で13,878千円の損失が発生しています。

経過等

成25年秋にゴミ処理の広域化は加西市にとって122,000千円得になると市民説明会が開催されたが余りにも突飛な話で理解できず困っていた。

ほとんどの市民は理解できていなかったように思います。

加西市にとって122,000千円得になり、ゴミ袋が半額になるから反対の声はほとんどなかった。

小野加東等へ統合した疑問点

まず、1億2千万円得になる。なぜ赤字なのですか？あまりにも違いすぎませんか？税金の無駄使いになっています。

焼却炉の問題ですが耐用年数から見ても加西市が17年経過、小野加東等が27年(30t2基)平成12年(50t1基)経過で周辺の市町村でも35年を越すような炉はないです。

加西市は市の焼却炉はボロボロで今にも壊れそうに説明しているが、ある産廃業者が加西市の焼却炉を見に来て非常に良い状態で廃炉にするのには勿体ない。当面は大規模改修も必要がない。廃炉にするなら売ってもらえるかと質問された。

また、加西市は小野加東等の焼却炉は大規模改修の必要がなく延命措置で15年間使えろと回答している。何処のメーカーが延命処置で15年間大規模改修無しで使え

ると言ったか？ また、大規模改修は発生しないと言いながら発生すれば加西市も処理量等で負担になっているのも問題です。

小野加東等に聞き取り調査をした。15年間大規模改修しなくても3炉でローテーションして延命処置で使用できるのかと聞いたら小野加東等は小野市加東等の焼却炉は古いから明日壊れるかもしれないので補償はできませんとの回答があった。

小野加東等は加西市からは電話での問い合わせがある、忙しいのに迷惑している。そんな間があるなら一週間ほど泊りで勉強に来たらと伝えたが加西市から誰一人来なかった。

また、「市民オンブズマン加西」は小野加東等に大規模改修が発生したら加西市は加入年数に応じた負担にできないかと提案している。その旨、小野加東等に伝えたが、小野加東等の会議では加西市からは何も提案はなかった。加西市には焼却炉の詳しい事が分かる人がいないように思った。と回答を得た。

また、驚いていますが、加西市は加西市の廃炉費用39千万円を負担し、かつ、小野市等の廃炉費用（見積りは取られていない。加西市の炉を参考にすれば概ね7億円ほど必要）を負担する。こんな取引は正常とは思えません。

今後の問題点

5市1町構想幻に！広域化はすでに破たんしています。

また、小野加東加西環境施設事務組合で今後も広域処理を続けるなら、大規模改修費および廃炉費用の負担は加入年数で案分し、本当に得になるよう負担割合を変更すべきです。

それでも年々増加する小野加東加西環境施設事務組合の負担金には注意が必要です。負担の軽減が図れないなら、早期に加西市に持ち帰り市民負担をどうすれば少なくなるかを第三者等（焼却炉の専門的な知識を有する者等）交え検討すべきです。